

# ライブラリーニュース

新学期特別号  
2015/ 4/ 8 (水)  
笠商・図書館

進級おめでとう！ まず1冊、本を読もう！



新しい学年がスタートしました。

昨年度は「笠商図書館」の本をたくさん利用していただき、ありがとうございます。今年も、学校の図書館に限らず、本をたくさん読んで、頭を鍛えてください。

何事も〈きっかけ〉が大事です。新しいスタートのこの4月に「まず1冊」、図書館の本を借りて読みましょう！

現在、2つの「特設コーナー」を設けています。

## ◆ スケジュール手帳の使い方 ◆

年度初めに手にする「KSスケジュール手帳」、うまく活用していますか？

スケジュール手帳を活用することで、

- ・一日を大切に記録していくと、毎日が充実してくる
- ・自分の目指す未来を毎日確認して、モチベーションを維持できる
- ・時間を生み出すことができる
- ・あすれもの、うっかりミスをしなくなる
- ・最終的に、自分の夢を叶えることができる

とされています。「手帳の使い方」、13冊あります。いくつか紹介します！



## 『意外と誰も教えてくれなかった手帳の基本』



本書は、おもにビギナーに向けた手帳の選び方、使い方を説明する本です。各種の手帳とその使い方を紹介し、あなただけの手帳とその使い方を見つけてもらうために書きました。「私にはこの手帳が合っている」「この用途にしたい」という指針を見つけ、それをワークブック部分に書き込んで活用していただくことを目的としています。

## 『1年が楽しくなる〈さばお手帳〉のつくりかた』



シール&テープでデコる。1冊に、スケジュールから日記までぜんぶ書きこむ。平凡な1日が幸せに思えるさばお手帳。

## 『もっと輝く自分を見つける手帳づくり』



人それぞれ自由にカスタマイズできる手帳は、自己管理のツールとしてだけでなく、使い次第で〈人生の大切なパートナー〉になります。手帳づくりをより楽しむために、今すぐマネできるイラスト使い、写真の貼り方、マスキングテープやシールを使ったデコレーションなどの手帳づくり実例を紹介します。イラスト練習帳付き。

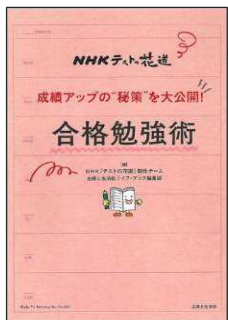
## 『夢を叶える！引き寄せノート術』



あのお店に行ってみた、こんな洋服がほしい、という日常レベルのちっちゃい夢から、最後は理想の結婚相手を見つけるという、壮大な夢まで引き寄せる！「もうすでに叶ったかのように、過去形で書く」ことで、あなたの夢が実現に向かって動き出します。

◆ 3年生になったら読んでおきたい本 ◆ 2年生もどうぞ!

『NHK テストの花道 成績アップの〈秘策〉を大公開! 合格勉強術』



NHK・E テレ『テストの花道』で大人気の“花道流勉強術”が一冊の本になりました。成績トップクラスの現役高校生が実践している“できるアイツの勉強術”。難関大学の入試を突破した“花道の先輩”おすすめの“計画力アップ術”。部活で時間がなくても成績を伸ばせる“花道流・時間活用術”など、成績アップの“秘策”を徹底紹介します。

『中学生・高校生のための手帳の使い方』



しっかりと生活習慣、学習習慣を身につけたい、受験や部活のため忙しい毎日を送っている…。そんな

新しい図書館司書は  
竹好 翼(たけよしはつ)さん  
です。



中学生、高校生におすすめなのが、「手帳」です。はじめて手帳を使う中高生が、すぐにでも実践でき、無理なく続けられるためのさまざまな方法を、P(計画)、D(実行)、C(チェック)、A(改善)の各段階に分けて、記入例つきでわかりやすく紹介します。

『マネジメント[エッセンシャル版] - 基本と原則』



ピーター・F・ドラッカー著  
マネジメントの仕事とは実践であり、成果を出すことであると明確に規定する。そして、そのためにマネジメントが果たすべき使命と役割、取り組むべき仕事、さらには中長期的に考えるべき戦略について、具体的に解説する。組織で働く人に、新しい目的意識と勇気を与える書。

『学校では教えてくれない推薦・AO 面接の超裏ワザ講座』



銀行員としての経験を活かし年間 220 件の講演をこなす著者が、予備校や学校の先生とは全く違う視点で書いた面接の極意。

『推薦入試・AO 入試 まるまる使える出願書類の書き方』



志望理由書・自己推薦書・エントリースートなど、あらゆるタイプの書類の書き方を徹底解説。例文を多数掲載。

『じょうぶな頭とかしこい体になるために』



五味太郎が、子どもたちの疑問、悩みなど 50 の質問に答える、生きるためのアドバイスブック。自分で考え、自分で悩み、自分をはげまし、そして自分に自信をもって生きていく…「じょうぶな頭とかしこい体」をつくるための本。

『働き方―「なぜ働くのか」「いかに働くのか」』



現代における「最高の働き方」とは? 「なぜ働くのか」「いかに働くのか」混迷の時代だからこそ、あえて「労働が人生にもたらす、素晴らしい可能性」を問いかける! 「本書を通じて、一人でも多くの方々が、『働く』ことの意義を深め、幸福で素晴らしい人生を送っていただくことを心から祈ります」(稲盛和夫)

『子どもの貧困―日本の不公平を考える』



健康、学力、そして将来…。大人になっても続く、人生のスタートラインにおける「不利」。OECD 諸国の中で第二位という日本の貧困の現実を前に、子どもの貧困の定義、測定方法、そして、さまざまな「不利」と貧困の関係を、豊富なデータをもとに検証する。貧困の世代間連鎖を断つために本当に必要な「子ども対策」とは何か。